

キララだより

【学校目標】「ゆたかさ たしかさ たくましさ」

発行：竜東中学校

(文責：江口)

生徒による授業評価アンケートの結果より

本校では、生徒が毎日の授業にどんな思いをもって臨んでいるかを毎学期アンケート調査しています。このアンケートは、生徒たちが自身の振り返りとともに授業への率直な感想を記入し、学校として授業改善にいかす狙いがあります。

今年度の結果は以下のとおりです。(無記名で実施、項目の変更はありません。)

回答は、「はい/まあまあ/普通/ときどき/いいえ」の5段階で行いましたが、ここでは概要をつかむためにプラス評価とマイナス評価だけを取り上げ、まとめています。

【生徒の自分自身への評価】

設問項目	はい/まあまあ (前年比)		ときどき/いいえ (前年比)	
①授業は楽しかったですか	86%	(-6)	1%	(±0)
②集中して主体的に取り組めましたか	87%	(-3)	2%	(+2)
③授業で分かったことやできたことがありましたか	80%	(-11)	3%	(+2)
④この教科が、以前より好きになってきましたか	73%	(-7)	4%	(+1)
⑤家庭学習に主体的に取り組めましたか	62%	(-4)	9%	(+1)

《分析》数値的には、昨年度より下降気味です。昨年度、設問①②の「授業が楽しい、集中して主体的に取り組める」が大きく前進した部分でしたが、元に戻ってしまいました。これに伴って、設問③「分かった、できた」の評価も低下したと想像されます。設問④についても、①③に関わってくる評価ですので、生徒たちがどんなところで困っているのか、どういうことに主体的になれるのかということを探って、授業改善をしていく必要を感じています。設問⑤の家庭学習については、今年度は、週休日の「自学ノート」を改良したり、工夫されたノートを掲示したり、生徒同士の学びあう会を開いたりなどして、互いに切磋琢磨できる環境づくりに努めています。ですが、まだ「主体的」ではないと自己評価をする生徒が多いということが分かります。やろうと思っはいるけれど、実行する難しさを自分で感じているのだと思います。

【授業への評価】

設問項目	はい/まあまあ (前年比)		ときどき/いいえ (前年比)	
①学習問題や課題が示され、1時間の見通しが持てる授業でしたか	85%	(-5)	2%	(+1)
②友達と考え合う時間や活動のある授業でしたか	88%	(±0)	1%	(+1)
③1時間の授業のまとめや振り返りのある授業でしたか	81%	(-5)	2%	(+1)
④分からないことを聞けたり、質問したりしやすい授業でしたか	79%	(-5)	3%	(±0)
⑤電子黒板や個人PCを活用したことで、分かりやすく、やる気の出る授業でしたか	56%	(-10)	3%	(-5)

《分析》こちらも昨年度より下降しています。ここでは、設問①「見通しがもてる授業か」どうかに注目します。ふだん、ほとんどの授業で「学習問題、学習課題」等の提示がされていると見ているのですが、生徒の側からみると、それが伝わっていないか、または示されている内容が腑に落ちていないということが考えられます。その授業で何を追究するかが分かっていないと、これと連動して、設問③の「まとめや振り返り」が十分にできないという回答になることも頷けます。設問②「友達と考えあう」活動はプラス評価を維持しています。今年度の重点に「他者と言葉のキャッチボール」があげられているとおり、意図的に場面を設定しています。このときに、設問④「質問」して聞きあうことができるように活用したいものです。

設問⑤の ICT を使った授業については、昨年度既に「ICT 機器が当たり前の学習用具になってきた」と分析されています。本年度はそれが進んだと見え、授業で上手に機器を使っている今の生徒たちにとっては「ICT だからといって特別感はない」のではないかと思います。来年度は設問を更新することを検討します。

【生徒の感想より】～代表的なものを紹介します～

《自分の学び》「情報を知った時なるほどと思えたので、もう1回やってみよう。」「みんなで交流する時に、みんなの考えがわかって学びが深まった。」「友達と協力してできるようになったことが印象に残っている。」「先生が友達と考える時間を作ってくれるから、理解を深めることができる。」「考えれば考えるほど意味も分かって、それが面白かった。」「実験を先生の必要最低限の指示で行った。」「褒めてもらえて嬉しかった。」「歌を歌うことが好きになった。」「言えなかった英語を今言えるようになった。」「うまく書くことができるようになってきた。鉛筆の技法で濃淡をつけたことが印象に残った。」「レポートは難しかったけれど、いつもは使わない力を使って問題を解けたのでとても楽しかった。」「

《授業について》「わからなさそうな人や困っている人に(先生が)教えに行っているところが良い。」「漢字の練習方法がわからないので、教えてほしい。」「単独の作業だと、先生に教えてもらうより理解できないので、サポートしてほしい。」「振り返りの時間を、もうちょっと増やしてほしい。」「モニターで先生が書いているところを見せてくれて、分かりやすかった。」「今年から自分のタブレットキーでセンテンスが見られるようになったので、普段の家庭学習やテスト勉強とかですごく助かる。」「もともと(〇〇の単元は)好きでしたが、追究してより楽しさや素晴らしさを知れてよかった。」「(〇〇の単元)はやめてほしい。」「もう少し難しい、勉強になる、頭を使うプリントなどを作ってほしい。」「

生徒の声を受けて、学校職員でも話し合いました。

今ある「良さ」について ☆理解の深まりについては、①問題を数多く解くこと、②生徒が自分で活動すること ③まとめの時間の充実を図ること、が効果を上げている。 ☆意欲的な追究姿勢については、①グループ活動や友達との関わりがモチベーションの維持向上につながる。②見本や試してみる時間、実験の時間をつくって取り組むこと、③自分に合った課題を自分で選んで取り組むこと、④ICT 機器の効果的な活用 が効果をあげている。

「いま一步」と感じられることについて ☆分からないことをそのままにしているのではない。授業中に先生が近くに行くときなどに質問できるとよい。 ☆家庭学習に取り組む生徒の割合が低い。

今後の改善について

アンケートの数字はやや残念な数値でしたが、生徒の文章による感想は「〇〇が分かって嬉しかった、楽しかった、続けてほしい」というポジティブな声がほとんどでした。調べることや友達との意見交流についても手応えがあるようです。鍵は「自分が〇〇をしたことで、達成感を味わえること」だと言えますので、授業の課題を明確にし、生徒の反応を生かした授業をします。また、主体性や非認知能力を育てるためには、「学ぶ楽しさとは?」「一歩進んだ私とは?」「学びの振り返り」の在り方を職員はもちろん、生徒自身も自覚的になることが大事だと思います。

そして、友達と一緒に学ぶとともに、自分一人になっても学び進めることができるという学ぶ力を伸ばすことも大事ですので、自分で考える時間も設定し、家庭での学習についても自分の課題を意識し、「平日の宿題」と「土日の自学」について目的をもって取り組めることを目指したいと思います。ご家庭でもご支援、サポートを引き続きよろしくお願いします。

学校教育活動・体罰に係る調査のまとめ

今年度の回収数は60件(回収率86%)でした。ご協力ありがとうございました。

今回は、「家庭での行動目標」の設問項目を本校グランドデザインに沿ったものに改めましたので、これまでの結果との直接的な比較はしにくい面もありますが、逆に見えてくるものもあったように思います。

今年度の設問項目と、その結果は以下のとおりです。(記名は任意で実施。)

回答は、「大いに思う/だいたい思う/普通/あまりそう思わない/全く思わない」の5段階で行いましたが、ここでは傾向をつかむために「思う/普通/思わない」の3つに大別しています。

【学校教育活動について】

設 問 項 目	大いに/まあ 良い (前年比)	普通 (前年比)	あまり/よくない (前年比)
①お子さんは喜んで通塾中に通っている	70.0% (-2)	23.3% (+1.2)	6.7% (+0.7)
②本校の教育活動について	60.0% (+3)	40.0% (-2)	0.0% (-1)
③生徒が大切にされ、クラスが安心できる 場所になるよう努力されていると思う	65.0% (-5)	30.0% (+3)	5.0% (+2)
④生徒の興味関心や学習意欲を高め、分か りやすい授業が行われていると思う	50.0% (-5)	43.4% (+1.3)	6.7% (+3.7)

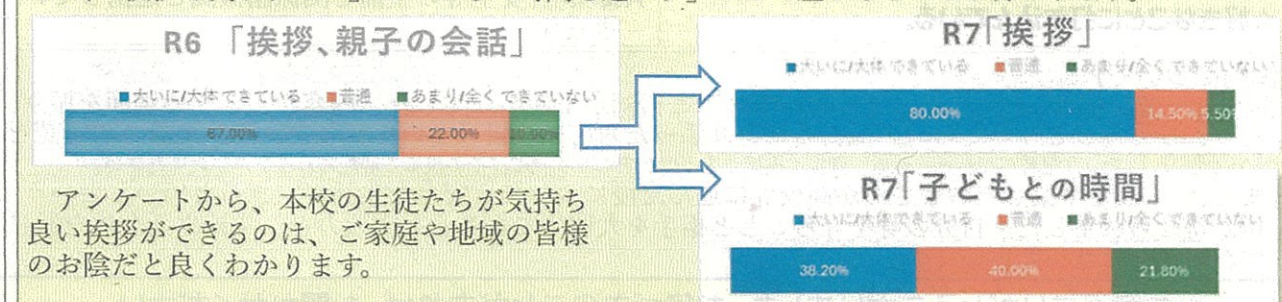
《分析》設問①「喜んで通っている」が微減しており、設問③④の結果と連動していることも想像されます。学校においては、社会的・対人的な場面、学習場面が大きな要素となっておりますので、保護者の方々が感じておられるお子さんの様子等をお聞きし、丁寧に対応していく必要を感じます。そのなかで、設問②「本校の教育活動」については、プラス評価を更新していただくことができました。保護者の皆様のご協力をいただき、生徒たちの素晴らしい姿がさらに発揮され、それをお伝えしていくように更に努めてまいります。

【家庭での行動目標について】

設 問 項 目 (比較した昨年度の設問)	大いに/まあ できている	普通 (前年比)	あまり/全く できていない
①互いに挨拶を交わしている (進んで挨拶、親子会話)	80.0% (+35)	14.5% (-28.5)	5.5% (-4.5)
②早く仕事から帰り、子どもとの時間を作る (進んで挨拶、親子会話)	38.2% (-28.8)	40.0% (+18)	21.8% (+11.8)
③子どもの学習に関心を持っている (宿題、自主学習のサポート)	40.0% (+22)	47.3% (-9.7)	12.7% (-15.3)
④登下校で「きららウォーク」に参加している (体動かす、徒歩の機会)	10.9% (-36.1)	18.2% (-2.8)	69.1% (+36.1)
⑤スマホ、SNS等、家庭のルール等を子どもと一緒に 見直している (昨年度と変更なし)	29.1% (+13.9)	38.2% (+4.2)	32.7% (+10.1)

《分析》日頃から学校の諸活動にご理解とご協力をいただき、ありがたございます。設問項目を昨年度までと変更したことにより単純な比較はできませんが、内容を絞った設問になり、以下のことがみてとれます。

設問①②は、昨年度まで「挨拶と親子会話」となっていたのを2つに分けた設問です。グラフで見ると、「挨拶を交わすこと」と「ともに時間を過ごす」ことで差があることが分かります。



ただ、一方で、子どもたちと大人が時間や場を共有することに難しさがあることも見えてきます。大人には仕事の都合もありますし、生徒たちは思春期を迎えています。そんな中でも、特に SNS 漬けにならないよう、世の中の出来事や仕事、学ぶこと等について雑談することは、思春期だからこそそのだいじな時間になると考えます。

設問③「学習」の数値も変動しました。設問によって、この違いがあることを考えると、保護者の方はお子さんの学習にもちろん関心を持ってくださっているけれども、実際に家で中学生の宿題や自主学習をサポートするのはすこし引けてしまうということが想像されます。学校と家庭とで内容やサポートについて情報交換し、連携することの必要性を感じました。



設問④「運動」は、最も大きな変化が出ました。体力テストでも県平均との差が出ていますので、自転車通学か、少しでも徒歩区間を設ける「きらら WALK」を、天候や危険回避等で季節を選びつつ、できるだけ故郷の景色や空気を味わい、生活リズムを整え、自分の健康増進を図るよう促していただけたらと思います。

【自由記述 ～お気づきの点～ から】

ご意見	お返事
Q①授業参観。午後の参観で、そのままクラス懇談などに参加できるとありがたい。	A①一日参観可能にしているのは、より多くの方に参観していただくためです。午後だけ参観し、そのまま学級懇談に出席していただくことも可能です。
Q②急な変更は午前中にテトル連絡を。	A②花壇活動などギリギリまで粘ることもあり申し訳ありません。天気予報を見ながらできるだけ判断を早くするよう努めます。
Q③学校 HP の更新が少なく残念。	A③④HP の更新は少なくとも 1 か月ごとの更新に努めます。デジタル化した生徒手帳は、HP に掲載してあります。普及に努めます。
Q④生徒手帳のデジタル化はどうなったか。	A⑤市や近隣学校と連絡を取りあい、各部活には顧問から連絡しておりますが、全体としても周知を図ります。
Q⑤今後の部活動の方針を早急に伝えてほしい	A⑥行事精選は取り組みたいと考えます。ご意見、ご理解とご協力をお願いいたします。
Q⑥行事や部活動について、生徒と保護者の人数の減少をうけて抜本的な対策が必要だと考える。(例：草取りを授業参観に行う)	A⑦気候変動で健康面から制服の機会は確かに減りましたが、今は変更予定はありません。
Q⑦制服の在り方の検討してほしい。(例：ほぼ使わないならレンタルなど)	A⑧必要に応じて個別に相談してまいります。ぜひ担任等に声をかけてください。
Q⑧学習について対応強化をしてほしい。(例：別教室での授業など)	A⑨個人差にもできるだけ配慮して使用します。ご相談ください。
Q⑨冷房を適切に使用していただきたい。	A⑩自転車教室のルールとマナーを守れる竜東の子であるよう、声をかけていきます。
Q⑩自転車の運転ルールを守られず、危ない。気を付けて運転してほしい。	A⑪気候や距離や場所を選び参加をお願いします。
Q⑪きらら Walk は熱中症が心配。	A⑫環境、安全等の整備を関係諸機関と連携していきます。
Q⑫三遠南信道～中学校までの道の整備。	
☆学級通信がまめに出版されている。	
☆子供が楽しそうに通学できている。	
☆家ではぐうたらしているが手伝いはしてくれる。	
☆好きなことに打ち込んでいる。	

【体罰について】

- ・生徒と保護者の方から「言葉がけについて」のご指摘が 1 件ありました。内容から、その場面を振り返り、ひとりひとりのその時の気持ちに寄り添った対応に心掛けていくことを、職員全員で再確認をいたしました。(記名がなかったため、直接ご挨拶できず申し訳ありません。その後もご心配あればお声がけください。)
- ・また、「本校を卒業したお子さんが高校等に進んだ後についても安全な生活ができるといい」という声が寄せられました。自分の身を守ることと相手を大切にできる心と実践力を、学校生活全体を通じて育てていきたいと思ひます。

ご意見ありがとうございました。お気づきのことがあれば、お聞かせください。